

# 6月の祭典行事について



熱田神宮宮庁総務課 名古屋市長熱田区神宮1-1-1  
T e l 0 5 2 ( 6 7 1 ) 4 1 5 3 F a x 0 5 2 ( 6 8 1 ) 0 5 3 8

公式HP

## 井戸をのぞいて成育祈願

高座結御子神社例祭

6月1日(水)

正午

高座結御子神社(境外摂社)

祭典・神事

「虫封じ」「井戸のぞき」で知られ、子育ての神様として信仰が篤い高座結御子神社(熱田区高蔵町)の例祭を行います。我が子の無事成育を祈って子供に井戸をのぞかせたり、巫子の振る鈴でお祓いを受けたりする親子づれのほほえましい姿が境内一円で見受けられます。



○前日(5月31日)午後5時の宵宮祭から、参道には露店が軒を連ねます。

## 神恩に感謝し、国家の安泰を祈る

例祭(「熱田まつり」・「尚武(しょうぶ)祭」)

6月5日(日)

午前10:00

本宮・別宮・摂末社

祭典・神事

例祭は「熱田まつり」「尚武祭」とも言われ、当神宮の恒例祭典中最も重要かつ荘厳なお祭りです。総代・崇敬者をはじめ各界の代表者等が参列する中、勅使(天皇陛下のお使い)ご参向のもと祭典を執行、皇室の弥栄・国家の隆昌を祈ります。夕刻から各門に奉飾する献灯まきわらや1,000発にも及ぶ打上げ花火は、初夏を彩る風物詩です。



○神賑の奉納行事として献灯まきわらや花火、弓道・柔道・剣道・演芸・俳句・献書の各大会、尾張新次郎太鼓や熱田神楽の奉納演奏等が行われます。

## 献茶祭

6月5日(日)

午前10:30

神楽殿

祭典・神事

崇敬者・茶道愛好家が参列する中、松尾流 松尾宗典 宗匠の奉仕により、濃茶・薄茶を神前に供え御神慮を和め奉ると共に、斯道の繁栄を祈願いたします。



○拝服席11:30~13:00  
協賛席10:00~15:00

【濃茶】表千家 吉田生風庵 【薄茶】裏千家 淡交会愛知第二支部



## 献花式

6月5日(日)

午後2:00

神楽殿

行事

崇敬者・花道愛好家が参列する中、小原流 福田ゆり 氏の奉仕により生花を神前に供え、御神慮を和め奉ると共に、斯道の繁栄を祈願いたします。



○よもぎ花道会会員による各流派の献花が境内花席及び神楽殿祈願者待合所内の臨時花席で行われます。

## 優雅な田舞を奉奏

御田神社御田植祭

6月18日(土)

午前10:00

御田神社

祭典・神事

境内の摂社御田神社で五穀豊穰を祈るお祭りを行います。ご神前には斎田に植える玉苗が供えられ、陪従（べいじゅう）の歌う田歌に合わせて、芙蓉（ふよう）のかざしをつけた当神宮の巫子が早乙女に扮し、古式ゆかしい田舞を奉奏します。



## お氷上さんのお田植祭

大高斎田御田植祭

6月26日(日)

午前10:00

因高斎田(氷上姉子神社)

祭典・神事

緑区大高町に鎮座する摂社氷上姉子神社の境内にある斎田で、五穀豊穰を祈るお祭りを行います。

水玉模様の着物に身をつつみ、手甲・脚半・菅笠をつけた早乙女が、田植歌にあわせ田舞を舞い、橙色の装束をつけた男性奉耕者の介添えで、手さばきも鮮やかに早苗を斎田に植えつけます。



○早乙女は例年なごや農協大高支店の職員並なごや農協女性部の方々にご奉仕をいただいています。本年度90回目を迎えます。



## 罪や穢を祓いに祓って

大祓(おおはらえ)

6月30日(木)

午後3:00

本宮拝殿前

祭典・神事

この儀式は、人間本来の清く正しく明るい心を取り戻し充実した生活を営むため、自己にふりかかった罪穢を祓い去るもので、6月末と12月末の年2回行われています。



## 熱田神宮宝物展 6月展

コーナー展示「武将と熱田」

5月27日(金)~6月28日(火)

午前9:00~午後4:30

宝物館

宝物展示

当神宮は古来より、多くの武将の信仰を集めてきました。コーナー展では、書状を中心に戦国武将と当神宮の関係を紹介致します。

主な展示品【重文】日本書紀、【重文】古神宝類 入帷残闕、【県文】寛永十四年熱田万句、【県文】熱田神宮古文書、織田信長朱印状、織田信忠判物、加藤清正書状(写)  
他展示品数 約70点

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円  
[両館共通券 大人800円、小人300円]  
・入館は午後4時00分まで  
・団体割引あり。詳しくは文化課(052-671-0852)まで



## 剣の宝庫 草薙館 刀剣展

5月25日(水)~6月27日(月)

午前9:00~午後4:30

剣の宝庫 草薙館

刀剣展示

当館は真柄大太刀含め、名刀10数口の他、関連史料の展示、また実際に真剣や真柄大太刀の重さを知ることのできる体験コーナー、映像ブースも兼ね備えております。

主な展示品 【重文】太刀 銘 備州長船兼光、  
【重文】太刀 銘 元弘三年六月一日実阿作、  
【県文】脇指 無銘(号 あざ丸)、刀 銘 兼元 他

- 入館料 ・大人500円、小中学生200円  
[両館共通券 大人800円、小人300円]  
・入館は午後4時00分まで  
・団体割引あり。詳しくは文化課(052-671-0852)まで

